

天然素材と自然素材のお店  
エコショップ  
素材自店  
札幌市百合が原4丁目8-1  
(百合が原公園向かい)  
☎011-774-8599

ecology sozaijiten #20

自然素材で健康に！  
家を建てるとき  
木のことを考えてみましょう

1 地産地消は  
エコロジーの原点

今、日本各地で、近所の山の木で家を建てる運動が始まっています。  
地元で生産されたものは地元で消費し、地域活性化を図る「地産地消」の考えによるものですが、もう少し大きな目で見ると、国産木材を使った木の家を建てようということでもあります。安い輸入木材に市場を奪われ、今、私たちの身近な山の木は使われず放置されたため、危機に直面しているのです。  
日本は世界一の木材輸入国で自給率はたったの20%。残りの80%は輸入に頼っているのが現実です。  
国土の70%が森林に囲まれていて、先進国のうち最も森林率が高いこの国で、木材自給ができていないのはおかしいです。  
日本の森林生長量（使った良い森林資源量）は、年間約9000万立方メートルと推察されていて、これは現在の木材消費量の80%にあたりますが、実際に利用されている

のは、この内たった20%にすぎません。  
北海道の木材を見てみると、トドマツ・カラマツの消費量が180万立方メートルで、生長量の25%足らず。残りの75%は使われずに放置されていることになりました。

2 エコロジー素材  
とっての木

最も優れたエコロジー素材としての木は、生産から廃棄にいたるまで環境負荷が少しい環境循環資源でもあります。木の利用率のうち約50%が建築・家具用、残りの50%は紙や土木資材・燃料用として利用されています。  
エコロジー素材として、環境にやさしい理由をまとめてみました。

- (1) 温暖化防止に役立つ  
地域温暖化に影響のある二酸化炭素を吸収・固定して、酸素を供給してくれる。木の家を建てることは、炭素を一定期間、保管することになる。
- (2) 省エネにも役立つ  
木は生長するのに、水と太陽エネルギーしか必要としない。原材料として、また建築資材として加工される場合にも、単純に使われる建材ほど、製造エネルギーは極めて少なくなる。
- (3) リサイクル資源として役立つ  
最終的に廃棄される場合でも、チップ状に砕かれ、紙の原料や土木資材・燃料などに生まれ変わる環境資源になる。
- (4) 持続可能な資源である  
木の家として使われる場合、最低、木の年輪の数だけ住み続け、森林を守ることにより、持続され枯渇することのない環境資源になる。

3 森を守ること

持続可能な資源として森林を維持していくには、林業家の多大な労力と時間が必要になります。人工林に植林された木の細が収穫できるまでに最低40年、良材になるには、さらに30年の歳月が費やされます。まさに、人の一生と同じで大変なことなのです。  
その間、何度か間伐が行われ、密に植えられ生長した木が混み合わないよう間引きされます。初めから間隔をあけて植えれば良さそうなものですが、せめぎ合って生長するほうが、木はまっすぐに育つのです。  
この過程で生まれる間伐材は小径木ですから、柱や梁にはなれません。せいぜい、土木資材やチップにされるか薪になる程度でしたが、集成材や小径板に加工して価値を高める工夫をしている森林組合もあります。  
今、杉の価格は40年前と変わらないらしいのです。これでは、山の仕事はやっていけないだろうと思えます。

木の家を建てるときに  
考えたいこと

- (1) 近所の山の木を使うこと。
- (2) 間伐材や小径材をうまく使うこと。
- (3) 節のある並材を使うこと。
- (4) できるだけ素材をシンプルに使うこと。
- (5) 木を残さず使うこと。

4 木を活かすこと

木が持っている良さは、人の健康を守る大切な力となります。木が呼吸することによる調湿性は、たとえば3メートルの杉の柱で、ビル大ピン2本半の水分を含み、ピン半分の水分を出し入れしています。つまり、空気が乾燥していても、ある程度の水分を木が確保してくれていることにもなるわけで、北海道の冬の乾燥した室内にはとても良いのです。

5 最近思うんだけど

今年は寒かったね。わが家では薪ストーブが大活躍。でも、いつもとチョット違って、薪は薪ではなく、オガ炭を燃やしていたこと。話はこうです。道産フローリングをつくってもらっている工場で、加工の際に出るオガクズを固めて高温で熱して「高圧薪」をつくっていたことを、昨年知りました。なんて早く教えてくれなかったの！

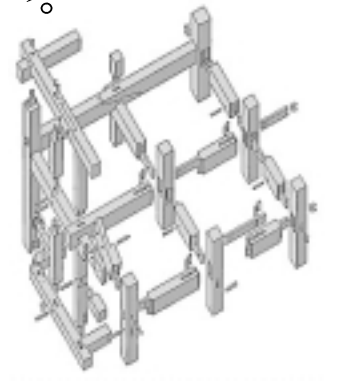


てなわけで、自分たちが使った出た木クズを少しでも自分たちで消費しよう、という淡モノ？の話なのです。

それでもって、最近思うんだけど、薪ストーブを焚いていると考えさせられることがあります。  
たとえば、焚きつけ用に使う新聞紙のカラーインクからダイオキシンのたぐいさん出てくるとか、接着剤で固めた合板や得体の知れない塗装がされた板などは、怖くて燃やす気になれないとか。  
正しい木の使い方って、あると思うんです。考えてみようよ、木の家に住むってことを！

職人がつくる  
木の家

職人がつくる、日本の木の家。  
人に健康、環境にやさしく、いざという時に心強く、未長く愛着をもつて住める家。  
そんな家を求めるあなたと、つくる私たちの縁結びのサイトです。



木の家づくり運動をサポートするWebサイト  
<http://kino-ie.net>

毎月25日更新

「木の家ネット」が  
Web年鑑2003に掲載中！

Web Design Annual  
2003

2002年度のベストサイトを  
選んで紹介する「Web年鑑2003」に  
「木の家ネット」が掲載されます！  
数万とも数十万ともいわれる  
日本発サイトのうち  
選ばれたのは710サイトです。

PROFILE  
西條正幸 Masayuki Saijyo  
エコロジーデザイナー。  
1960年伊達市生まれ。  
札幌を中心に商業施設のインテリアデザイナーとして活動。現在は人と環境にやさしい商住空間をテーマに、エコロジー建築による店舗住宅の新築、リフォームの設計・施工、エコロジー建材のコーディネートなどに応じている。  
一級建築士事務所(有)西條インテリアデザイン設立。代表取締役。

自然素材で新築・リフォーム  
E / C / O / L / O / G / Y / B / U / I / L / D / I / N / G  
一級建築士事務所  
有限会社 西條インテリアデザイン  
本社／札幌市北区百合が原4丁目8の1(百合が原公園向かい) TEL 011-774-8599  
伊達支店／伊達市舟岡町50-28 TEL 0142-22-0138 <http://www.saijo-d.com>



